

いに「し よじで生挑敗で 頑ちこにッもののるしね「を迎う遂 題は生
で頭刻つ僕う挑もま戦をす二張をれなシ失僕「いて刻座えこげ「が、の「立
すに苦かはに戦前れし恐。つつ捨かっヤ敗はとこ、苦右るとるつで立立月志
。入勉り、しす向まよれ今目ててらて「を、いと何勉のにで気目き志志二式
れ励気三たるきせうてまはい、はいを恐どうが事励銘あす持はま式式十を
て「持年い気にん「いで「きい、ま感れんこあに「にた。ち「しをが三終
生とち生で持考。とるの挑たろあしじてなとつもとしつ僕をあた終あ日え
活いをにすちえだいと僕戦いいきた、しこでて取はまては忘き。えり、て
しう入な。を、かう「のすでろら。弱まとすもり「し、れら てま僕
て言れる 忘自ら気自よるすなめでいいに。成組努た 立なめ 二した
い葉かま れ分、持分うこ。こるす気、対今しみ力。 志いず つたち
きをえで なを少ちかにと と気が持プしま遂、を 式とや の。二
た常てに い信しがら失「 を持、ちレてでげ苦重 勵 をいり 課僕年